

活動の柱

- 1 青少年の体験活動の促進
- 2 青少年団体の育成と支援
- 3 青少年に望ましい地域づくり
- 4 青少年に関する相談と対応
- 5 青少年に関する調査と情報提供



神奈川県青少年指導員だより

第 51 号

- 2014 年 9 月 -

発行 神奈川県青少年指導員
連絡協議会発行者 石井一也
連絡先 045-210-1111(代)印刷 神奈川県青少年課内
文一堂印刷株式会社
045-231-1931

第 24 期 理事あいさつ

24 期に向けて

県協議会 会長 石井一也



今年度、新たに神奈川県青少年指導員連絡協議会会長に就任致しました、横浜府青少年指導員連絡協議会の石井でございます。紙面をお借り致しましてご挨拶をさせていただきます。

当協議会は、昭和 43 年に発足致し、県知事、市町村長等の委嘱を受け青少年の健全育成への取組や、指導員相互の連絡調整を目的とし、県内で 5200 名余りが活動を続けております。発足当時は戦後の荒廃期より高度経済成長期へのまさに転換期であり青少年の非行問題（暴走族・シンナー遊び・対教師への暴力等）が大きく取り上げられる時でした。オイルショック、バブル期と大きなうねりを経て現在に至っておりますが、少子化・核家族化・地域の繋がりの希薄化・インターネットや携帯電話（ツイッター・ライン等）の急激な発展により青少年を取り巻く環境は激変しております。戦後のベビーブーム、いわゆる団塊の世代に象徴される競争社会において、合理化や利便性を推し進めるあまり、私たちの「こころ」までがデジタル化に向かってはいないでしょうか。依然として虐待、いじめ、自殺等によりかけがえのない尊い命が奪われることが多々ございます。「命を感じるセンスを実体験を通して養い、命とは何よりも代え難いものなんだ。」という教育を幼いうちから実践していくことが必要だと思います。今こそ、デジタルからアナログへと舵をきり、将来を担う青少年が、夢や希望を持って成長していけるよう「地域力の更なる充実、地域ぐるみの青少年育成」を目指し、青少年関係友誼団体と力を合わせ指導員活動を推し進めて参ります。

青少年の健全育成にとりくんだ半世紀

県協議会 副会長 石橋 博



川崎市青少年指導員制度が発足して今年で 50 周年になります。

社会環境の移り変わりとともに青少年を取り巻く環境が著しく変化し、青少年問題も深刻な状況になっており、これからの

青少年活動には、様々な課題への対応が求められています。

私たちが日頃行っているパトロール活動などは結果が出にくくても地道に活動を続け、真正面から青少年問題に取り組んでいく姿勢こそが大切だと考えています。

青少年指導員制度発足 50 周年という大きなふしめの年に当たり、青少年指導員自らが決意を新たにするとともに、引き続き地域活動推進の核となり、今後とも青少年の育成活動を推進するために ご協力お願いいたします。

第 48 回「神奈川県青少年指導員大会」
開催にあたって!!

県協議会 副会長 市丸 克己



26・27 年度、神奈川県青少年指導員連絡協議会副会長の相模原選出市丸です。会長の足を引っ張らないように 2 年間頑張りますので よろしくお願いたします。

相模原の今年度目標の一つは、27 年度開催予定の「第 48 回

神奈川県青少年指導員大会」を成功させることです。今年の 9 月に実行委員会を立ち上げたところです。実行委員は全 27 の地区長と本部役員合わせ 35 名で、多いと思われるかもしれませんが、総勢 248 名の会員一人一人に周知徹底するには足りないくらいです。英知を出し合い会員が一丸となり相模原らしい大会にしたいと思います。

簡単ではないと思いますが、事務局、県連協等のお力を借りながら、「行ってよかった! 参加して楽しかった! 相模原らしいね!」という参加者の声が聞けるように日々の活動と共に頑張りますので、より多くの会員の皆さまの積極的な参加をお待ちしております。

青少年指導への心得



県協議会理事 出口 正雄

未来を担う青少年たちの育成に行政や地域社会での支えは必要です。

少年少女たちがどのように感じているのか知ることも重要です。青少年たちとふれあい、大人への信頼関係を築くこと

で望ましい環境が見えることもあるでしょう。その関係性を作るには、地域や社会、青少年に対して、どのようなサポート体制があるかなどの地域活動を理解してもらうことが興味への一歩になります。青少年たちとふれあうことに真摯に取り組み、協力していくことで互いに成長できる環境を作る機会になると思います。

青少年の明るい未来は、私達大人の1つ1つの行動から!!



県協議会理事 中野 隆則

このほど、理事を拝命いたしました県央地域の中野です。

私ども県央地域は、相模川を挟んで厚木・綾瀬・愛川・海老名・清川・座間・大和の7市町村です。また、圏央道の開通により風光明媚な山河、田園風景から

企業・大型店の進出で、私たちの生活環境も変化しております。同様に青少年の生活環境も変化しています。インターネット・SNS等情報手段の正しい使い方、挨拶や人とコミュニケーションが上手に出来て、人の痛みが分かり思いやりのある青少年を育成するため、皆様と一緒に出来る事からお手伝いと活動していきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

ふたつのミッション



県協議会理事 相馬 喜昭

この度、湘南地区から理事に就任致しました相馬と申します。諸先輩方と協力し盛り上げていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします申し上げます。

青少年指導員を経験して思うのは私たちに課せられたミ

ッションは大きく二つあるように思います。

一つ目は「子どもたちからいかに笑顔が多く引き出してあげられるか」ということ。

それにはこちらから子どもたちに笑顔を降り注ぐのが一番と考えます。

二つ目は「私たちの後任をひとりでも多く集め、育てられるか」ということ。

子どもたちが家族以外の多くの大人と触れ合う事により、子どもの成長につながると考えます。

家庭や学校だけではなかなか出来ないこの二つのミッションに皆さんとぜひ取り組んでいきたいと思っております。

これからの活動に向けて



県協議会理事 高島 和之

青少年指導員を委嘱されて活動し、今年で17年目になります。これまでの活動を振り返ってみると、子どもたちとのふれあいがまだまだ足りなかったのではないかとの思いがあります。

私達の役割は、様々な体験活動、ボランティア活動を通して沢山の子どもたちとふれあうことが基本だと思っております。そのためには、今まで以上に学校、保護者、地域の方々にアピールし、参加を呼びかける必要があります。

11月の県下統一キャンペーンでは、各地域で工夫を凝らし、盛り上げていければと思っておりますし、次世代の指導員活動がうまく機能できるよう、さらに努力していきたいと思っております。



「地域で育てよう! 青少年。」

県協議会事務局

県青少年指導員連絡協議会では、青少年指導員の存在や活動を広く県民に知っていただくため、「地域で育てよう! 青少年。」をキャッチコピーにPRを行っています。

地域のイベントやキャンペーンでキャッチコピー入りの「のぼり旗」を掲げて活動をアピールしたり、県のホームページや保護者向けのチラシに地域で青少年指導員が活動していることを掲載しています。

皆さんも日々の活動で、青少年指導員の積極的なPRをお願いします。

平成26年度「青少年の健全育成を進める県民大会」



オープニング



司会

平成26年7月12日(土)海老名市文化会館大ホールにおいて、青少年の健全育成を進める県民大会が、「青少年の健やかな成長を支える地域社会づくり」をテーマに、柏木学園高校の生徒司会のもと多数の参加者を得て開催されました。

◆オープニング

大会は、中央農業高校の和太鼓の演奏で始まりました。素晴らしいステージに「迫力ある演奏で、地元の高校生の生き生きとした活動を見られてよかった」との感想が寄せられました。

◆基調講演

鎌倉女子大学の春日美奈子教授を講師に迎えて、「心の居場所の大切さ～大人たちは子どもに何ができるのか～」をテーマに講演をいただきました。

子どもの問題行動は病める社会の反射鏡で、大人の醜い部分が純粋な子どもの世界に映し鏡となって現れてくる、と語られ、「心の居場所」がない子どもたちのために、子どもたちが何でも話せる場所をつくり、子どもの心に言葉を届け、耳を傾けられる大人であることが、大切になることを強調されました。

最後に、私たち大人が心と体の健康に留意して、自分なりの夢と希望を持って生きている姿を子どもたちに見せてあげて欲しいと結ばれました。

◆パネルディスカッション

「みんなで考える、青少年の居場所づくり」をテーマ

に、中央大学の矢島教授の進行により春日教授と有馬高校の加留部教諭、海老名高校の2名の生徒をパネリストに迎え、パネルディスカッションが行われました。

加留部教諭は、今の生徒は自己主張が弱く、集団の中でばらばらのことをしているなど、生徒同士のかかわり方が変わってきたと発言されました。

高校生からは、家庭や学校が自分の居場所になっており、問題行動を起こす友達の場合は、誰にも構ってもらえないことが多く、ネットに依存しやすい状況であることを紹介してくれました。

また、春日教授は、家庭の養育機能の低下やコミュニティ機能の崩壊など、社会のひずみが一番弱いところに現れている。どこにも居場所がない子どもをいかにすくいあげるか考えなければならないとお話されました。

会場からも、孤立した家庭の親子への働きかけ方など、多数のご質問をいただき、熱心に議論が交されました。

矢島教授は、居場所がないのは子ども以上に親であり、孤立し、援助がなくても問題が起こらない限りこのままで良いと勘違いしている。人間関係という社会資本(居場所)がない親たちに対して、どのように地域、学校がアクションをとれるかが大切になるとまとめられ、パネルディスカッションは終了しました。

最後に、かながわ青少年社会環境健全化推進会議の石井会長が閉会の言葉を述べられ、大会は終了しました。



パネルディスカッション

地域活動が若返る3つのキーワード 「つなぐ」「開く」「遊ぶ」を実践してみませんか？

様々な人と関わり多様な経験ができる「地域」は、
☆子どもにとって、社会性などを身につける学びの場
☆親にとっては、子どもの育ちを応援してくれる仲間を増やす場
ですが、地域の間人関係の希薄化などにより、地域活動の担い手や参加者が減り、親子と地域との関わりも少なくなっています。

そこで、神奈川県青少年問題協議会では、大学教授や活動実践者などの青少年問題に関する専門家が「地域で深める親子の関わり ～子どもを中心につなごう！地域と親子～」をテーマに審議を行い、地域活動を元気にするヒントをホームページにまとめました。

- ホームページの3つの特色 -

①子どもや親の地域活動への参加・参画が進む3つのキーワード

「つなぐ」「開く」「遊ぶ」をわかりやすく解説！

②クローズアップ

モデル事業「蒔田公園で遊ぼう！ One Day キッズパーク」

… 子どもたちが地域の人々と楽しみながら交流できるイベントの企画 → 当日の実施

→ ふりかえりまでのノウハウを公開！

③子どもを中心に親子と地域との良いつながりが生まれている14の具体的な地域活動を紹介

詳しくはホームページで！

<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/0214/>

または……→



厚木に新たな「サポステ」がオープン！さらに相談しやすくなりました。

ニート等の若者の就労などを支援する地域若者サポートステーション（通称「サポステ」）のご案内
「働くことに自信がもてない」などの悩みを抱え、無職で学校にも通っていない15歳～39歳までの若者に対し、就活セミナーやコミュニケーション講座によるステップアップ、協力企業での就労体験などにより、就労に向けた支援を行っています。



どこに相談したらよいか分からない子ども・若者に関する悩みごと。

まずはご相談ください



かながわ子ども・若者
総合相談センター

045-242-8201

神奈川県西部青少年
サポート相談室

0465-35-9527

県内の地域若者サポートステーション

※面接相談には予約が必要です。

よこはま若者サポートステーション ☎045-290-7234

【交通】各線「横浜駅」西口から徒歩約8分

湘南・横浜若者サポートステーション ☎0467-42-0203

【交通】JR「大船駅」東口から徒歩約5分

かわさき若者サポートステーション ☎044-850-2517

【交通】JR「武蔵溝ノ口駅」、東急線「溝ノ口駅」から徒歩5分

さがみはら若者サポートステーション ☎042-703-3861

【交通】JR・京王線「橋本駅」北口から徒歩約1分

NEW 県央地域若者サポートステーション ☎046-297-3067

【交通】小田急線「本厚木駅」から徒歩約5分（アミュあつぎ7階）

県西部地域若者サポートステーション ☎0465-32-4115

【交通】JR・小田急線「小田原駅」西口から徒歩約3分

青少年の インターネット利用

親子で一緒にルールをつくりましょう!!

神奈川県では、青少年がインターネットを安全・安心に利用できるようにするためには、親子で話し合い、ルールをつくるのが重要であることを保護者の皆様呼びかけています。神奈川県でおすすめするルールのつくり方、8つのポイントを参考に、ご家庭でのルールづくりを推進しましょう。

<ルールのつくり方>

- ・なぜそのルールが必要なのか、お子さんと話し合い、ともに理解した上でルールをつくりましょう!
- ・お子さんが使おうとするインターネットサービスを保護者がお子さんと一緒に使ってみましょう! 危険性などを共有し、ルールづくりを始めるきっかけになります。
- ・お子さんの年齢や能力によって、我が家のルールをつくりましょう!
- ・作成したルールをしっかりと守ることができたら、ルールの見直しをしましょう!
- ・ルールを守れなかったときの約束事をあらかじめつくっておきましょう!

我が家のルールづくり八箇条

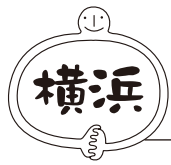
- 其の一
 - サイトへのアクセスは慎重に
 - 例) 保護者が安全かどうか事前に確認する
- 其の二
 - 安易なダウンロードはしない
 - 例) 親子で利用規約を確認してダウンロードをする
- 其の三
 - 個人情報を書き込まない
 - 例) 名前、顔写真、学校などの書き込み禁止
- 其の四
 - 人を傷つける書き込みはしない
 - 例) 自分がされたら嫌なことは書き込み禁止
- 其の五
 - ルールを守れなかった場合の対応
 - 例) 一時利用禁止
- 其の六
 - 困ったときはすぐに相談
 - 例) 知らない人からのメール、身に覚えのない請求
- 其の七
 - 一日の利用時間や時間帯
 - 例) 利用時間帯 ○時×△時、夜×時以降は利用しない
- 其の八
 - 利用する場所
 - 例) リビングで利用する、寝室では利用しない

※ルールづくりの詳細内容は県のホームページで <http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f4151/p756581.html>

第11回 青少年のインターネット利用環境づくりフォーラム in 神奈川の開催

内閣府主催により、青少年のインターネット利用環境整備を推進する関係機関・団体が連携し、自主的に各種取組を実施するための体制構築を目的として、全国6箇所において青少年のインターネット利用環境づくりフォーラムが開催されます。関東ブロックでは、神奈川県横浜市で開催されますので、奮ってご参加ください。

日時	平成 26 年 11 月 14 日 (金) 10:00 ~ 16:15
場所	横浜情報文化センター 情文ホール (横浜市中区日本大通 11 番地) みなとみらい線「日本大通り駅」3 番出口 徒歩 0 分、JR「関内駅」南口・横浜市営地下鉄「関内駅」1 番出口徒歩 10 分
参加費	無料
申込み	内閣府のホームページより事前申込み http://www8.cao.go.jp/youth/youth-harm/koho/forum/h26/index.html
内容	・民間事業者 (SNS 事業者や携帯電話事業者等) による講演 ・有識者による基調講演 ・有識者、民間事業者、関係団体、NPO 団体、青少年によるパネルディスカッション
共催	かながわ青少年社会環境健全化推進会議、総務省、経済産業省、警察庁、法務省、文部科学省、安心ネットづくり促進協議会



スクールゾーンキャンペーン

横浜市金沢区青少年指導員協議会 会長 小林 利彦

金沢区青少年指導員協議会の自主事業「スクールゾーンキャンペーン」を紹介します。

この活動は、学校の通学路周辺にお住いの皆さんに、子どもの登下校時の「見守り」の協力をお願いすることで、地域一体となって青少年を見守る意識を高めることを目的としています。

平成 17 年度からキャンペーン活動を行っており、昨年度までに 9 校の小学校区で行うことができました。平成 26 年度も実施に向けて、学校・P T A の方々と準備を進めています。

昨年度は 11 月の土曜日に実施しました。学校の校庭に青少年指導員・学校の先生・P T A 役員・児童の保護者・自治会町内会長・地域で見守り活動を行っている方々など、過去最も多い 158 人が集まりました。8 班に分かれ小学校区の通学路を歩きながら、庭の手入れをしている方に P R チラシを渡し「見守り」のお願いをしたり、不在のお宅にはチラシをポストへ投函しました。後日チラシを見た方から「見守りに協力します。下校時間に合わせて外の掃除をしてみようかしら。」といった言葉もいただきました。また参加した



スクールゾーンキャンペーンの様子

方々と情報交換ができたり、「今後も同様の活動を続ける必要がありますね」と自分たちの活動を評価してもらったり、有意義な時間を持つことができました。

今後も「スクールゾーンキャンペーン」を継続して行い、青少年見守り活動の意識を高めていくとともに、地域の一員である青少年指導員として活動したいと思っています。



第18回目を迎える「ライブイン山北」

山北町青少年指導員協議会 会長 杉本 太一

山北町「ライブイン山北」は今年で、第 18 回目を迎えることができ、町教育委員会をはじめ各高校に感謝しております。

「ライブイン山北」は足柄上地区 5 校の高校軽音楽部のグループバンドが参加して行うライブです。

第 1 回目の開催に当たっては、高校への依頼や教育委員会への予算確保のお願いや、多くの苦勞をされ今日に至っており、前任の先輩達の苦勞に感謝すると共に、教育委員会の理解があつてこそ実現できたものと感謝しております。今年も 12 月 14 日(日)開催に向けて 9 月から各高校の軽音楽部の代表者による実行委員会を開催し、運営を決定していきます。

当日は、午前に集合しリハーサルを行い、昼食には開催当初から地元である山北高校 P T A の皆さんの協

力によりカレーライスを作って頂いており、高校生にも人気となっています。



舞台下まで生徒が集まるなど会場が盛り上りました。

各高校の持ち時間は 30 分を予定し、それぞれの学校により出演バンド数は自由です。本格的な音響設備、照明やスモークなども使用し高校生に人気となり、毎年出演することを楽しみにしているという話も聞いています。

足柄上地区 5 校はそれぞれの自治体に立地しており、毎年持ち回りで開催するなど、変わった形での開催方法にすると、地域との関

わりが生まれ、また、高校生たちにも色々な刺激が与えられるのではないかと感じているところです。

高校生に夢を与えられる事業の一つとして今後も発展、継続して欲しいと願っています。



「さつまいも作り」始めました!

寒川町青少年指導員連絡協議会 会長 大久保 泰明

寒川町では、小学生体験学習として「キャンプ」と「さつまいも作り」を行っています。

「キャンプ」は、高学年を対象に長年続いている行事です。「さつまいも作り」は、低学年から参加できる行事として、平成23年度に始めました。4回目となる今年度も、5月下旬に「苗うえ」7月に「草とり」を実施しました。順調に生育しているのので11月の「いもほり」が楽しみです。

畑での子どもたちは、黙々と草とりをする子。とかげや虫に夢中になる子。いもが折れないように根気良く掘る子。顔ほどの大きないもを抱えて自慢げな子。いつも微笑ましい姿と元気な声でにぎわっています。収穫したさつまいもの一部は、青少年指導員がふかしいもや焼きいもにしてみんなで食べます。いろいろと試行錯誤して、去年はドラム缶で石焼きいもを作り、「ホクホク」「甘い」「おいしい」と好評でした。今年も計画を練っているところです。

「さつまいも作り」には、地域から「さつまいもサポーター」を募集して、畑仕事のお手伝いをお願いします。子どもたちや保護者、さらに青少年指導員にも

いろいろな知識やアドバイスをいただいています。

新しい仲間と親子で土に触れ、自分たちで植えた苗からさつまいもを収穫して食べるという、楽しさや大変さを経験しています。ここでの出会いや体験が、子どもたちの健全育成の助けになることを願っています。



みんなで仲良く「いもほり」



明日のレギュラーは君たちだ

多摩区青少年指導員連絡協議会 会長 関 敦司

多摩区の青少年指導員会の稲田地区（4班）では「多摩川ウォーキング20,000歩 歩いてみませんか」などを



中学1年生 バasketボール大会

主催したり、生田地区（3班）では小中学校の生徒やPTAの方たちによる「ふれあいミュージックフェスタ」を多摩市民館大ホールで開催し、かつ両地区とも地域諸団体と協力して青少年健全育成のための諸行事に旺盛に取り組んでいます。

また稲田地区・生田地区共同し多摩区青少年指導員会が主催して取り組んでいるのが多摩区・麻生区の中学1年生によるスプリングカップバスケットボール大会です。以前は中学生によるミニバスケットボール「スリーオンスリー大会」を長く開催していましたが「多摩スポーツセンター」が開設されたのを機にバスケットボール大会に切り替えました。

この大会はレギュラーとして試合に出る機会の少ない多摩区・麻生区の中学1年生を対象としています。真新しい体育館で1年生同士の試合は次のレギュラーとして基本を大切に全力でぶつかり、この経験は今後の貴重な財産となったことでしょう。今年は3月15日に第3回が開かれ、各地で予選を勝ち抜いた男女各9チームによるリーグ戦が行われ、フリースロー大会や抽選会も行い大いに盛り上がりました。



(平成26年10月～平成27年3月の予定)

◆横浜市

- 「つるみ臨海フェスティバル」における昔遊び体験
10月18日(土) 9時30分～15時30分
(荒天時翌19日(日)に順延)
入船公園
「ぶんぶんごま」・「紙トンボ」の手作り体験コーナーを設け、訪れた子どもたちに作り方やその楽しさを教えながら、交流を図る。
- 第5回神奈川区小学校音楽フェスティバル
12月13日(土) 10時00分～15時30分
神奈川公会堂
神奈川区内の小学校13校(予定)が参加する合唱の発表会です。元気いっぱいの子どもの歌声を、ぜひ聴きにきてください。(入場無料)
- 第8回西区ハマのウォーキングフェスティバル ～温故知新! にしく旧街道～
12月7日(日) ※荒天時中止
三道物語コース(約9km)
9時30分スタート
保土ヶ谷道コース(約5km)
10時スタート
【スタート】戸部公園
【ゴール】臨港パーク
- 第34回ボイス・オブ・ユース(青少年の主張)[南区]

- 11月30日(日) 13時開演
南公会堂
小学3年～20歳までを対象に募集した作文の表彰・代表者朗読発表等
- チャレンジ・ザ・ゲーム[港南区]
11月1日(土) 10時～15時
港南ふれあい公園
子ども向けの簡単なゲームを8種程度用意
- 第4回港南ひまわりウォーク
27年3月8日(日) 9時～13時
港南ふれあい公園ほか
- つづきウォーク&フェスタ
11月23日(日・祝) 9時～15時
青少年健全育成等を目的に都筑区内各所を歩くウォークラリーと、中高生による吹奏楽演奏、バトン・ダンスのパフォーマンス(フェスタ)を実施。

◆川崎市

- 10月無灯火自転車指導活動
10月9日(木) 19時～ 雨天中止
川崎区南町交番前
川崎警察署と連携し、自転車の無灯火走行など危険な自転車の運転防止を呼びかける。
- 第47回川崎区大師地区青少年書き初め大会
27年1月11日(日)
大師
大師地区居住の幼児～高校生を対象に、学年ごとに決められた題字を時間内に仕上げる書き初め大会を行う
- 第9回こどもとふれあう紙ヒコーキ大会
27年2月22日(日)

- 川崎市立西御幸小学校体育館(予定)
小学生を対象に、主催者の用意した紙で指定した紙ヒコーキを折り、飛行距離を競う
- 第25回中原区青少年吹奏楽コンサート
11月3日(月・祝)
川崎市総合福祉センター(エポックなかほら)
中原区内中学校・高等学校吹奏楽部による演奏、同有志による合同演奏
- 第4回多摩・麻生地区中学生バスケットボール大会～スプリングカップ～
27年3月7日(土)
多摩スポーツセンター
多摩・麻生区内の中学1年生が、学校ごとに男女に分かれ試合を行う

◆鎌倉市

- 子どもキャンプ
10月25日(土)～26日(日)
愛川ふれあいの村
小学4～6年生60人と子どもキャンプを実施
野外炊事体験、紙飛行機を作って遊ぶ工作コーナー、県立あいかわ公園や宮ヶ瀬ダムの見学を実施

◆藤沢市

- JUMP UP U-20 WINTER CONCERT
12月20日(土) 13時開演予定
湘南台文化センター
20歳以下の青少年バンドによるロック・ポップスコンサート

第47回(平成26年度)神奈川県青少年指導員大会開催

平成26年度神奈川県青少年指導員大会は、平成26年11月9日(日)13時から小田原市生涯学習センターけやきで開催されます。

大会のテーマは「地域で育てよう、青少年の明るい未来」です。県西地域県政総合センター管内の2市8町の青少年指導員の皆さんが力を合わせて、大会の準備を進めています。

オープニングは、世界的に活躍している地元の小田原少年少女合唱隊の合唱で始まります。事例発表は、小田原市の青少年育成推進員の取組みをご紹介します。

また、講演会は、児童指導員として、子ども・子育て支援の豊かな経験をお持ちの児童健全育成推進財団理事長の鈴木一光氏を講師に迎え、「大人が子どもを見守る意味」をテーマにお話いただく予定です。小田原市生涯学習センターけやきは、JR・小田急線他「小田原駅」西口より徒歩20分です。駐車場はございませんので、お越しの際は公共交通機関をご利用ください。

「つばさ」第24期編集委員

白石 勝己 横浜地域 松本 弘 川崎地域
近藤 郁恵 相模原地域 芦澤 雄一 横須賀三浦地域
中野 隆則 担当理事

編集後記

つばさ編集委員 白石 勝己

第51号の「つばさ」をお届けいたします。猛烈な暑さの中、日頃、青少年育成の活動に対し皆様のご協力に感謝しております。

目まぐるしく起きる事件に子どもたちが被害に遭ってしまう悲しい出来事も多い中、子どもたちが安心して過ごせる日々を願っております。青少年指導員の方々も体調に気遣いながら活動していきましょう。

最後に「つばさ」の発行に際して記事等のご協力ありがとうございました。